

# キッズギャラリー

1 年間、子どもたちは幼稚園でいろいろな表現をして遊んできました。言葉での表現、体を使っての表現、歌や楽器遊びでの表現などに加えて絵や製作での表現も自分の思いを表す大事な表現です。一人一人がさまざまな時やものとの出会いから心が動いたことをありのままに表現することを大事にしています。2月9日～10日にキッズギャラリーを開催しました。

1 年間の締めくくりの時期となりました。4月に示した教育目標の目指す子どもの姿の「探究」「ふれあい」「誇り」が、このキッズギャラリーでも見られました。

3 歳児〇ちゃんは、「わぁ、これ僕がつくった!」と自分の絵の具とシュレッダーした紙とを合わせてつくったご馳走を見せてくれます。周りにいる友達にも「これ、僕の」と伝えています。次々、見に来られた小学校の先生に、そのたびに「これ、僕の」と案内します。小学校の先生もうんうんとうなずいて〇ちゃんの話聞いてくださいました。

4 歳児◇ちゃんは、3 歳児がつくったいろいろな色のビニールテープをペーパーの芯に貼った作品を見て、「これ、すごいなあ」「いいなあ」とつぶやいています。

また□ちゃんは、5 歳児の魔女の国の灯りを見て「これ、作りたい!」とくぎ付けです。担任の先生にその思いを伝えています。「アルミホイルが要る」と材料もしっかり自分でわかって要求しています。翌日、つくったものを4、5 個抱えて、また遊戯室の魔女の国の灯りの側にやってきました。「できた!」と嬉しそうです。一緒に来た友達も「これ作りたいって言ってたもんね」と□ちゃんの嬉しさに共感していました。

遊戯室いっぱいの作品の中から、自分の作品を見つけて喜んだり、友達の作品の素敵ところを見つけたり、自分もつくってみたいなと思ったり…。自分の作品を大事に展示されていると感じながら自己肯定感（「誇り」）も高まっています。また、年齢を超えてすごい!と思ったり、こんなにつくってみたいと憧れたりしています。友達を認め合ったり、刺激を受けて製作意欲につながったりしました。まさに「ふれあい」の姿です。

4 歳児の◆ちゃんは自分の絵の前で自分の絵について友達に説明をしていました。「これはね、ペケなんだけど、どうしてかって言うとね、寝ていない子どもには（サンタクロースは）プレゼントをあげないよっていうこと」と。サンタクロースの世界をイメージしてかいた絵でした。真ん中にはサンタクロースが元気よく、「プレゼントを届けにいくよ」と両手を挙げています。そして、トナカイも嬉しそうに踊るかのようそばにいます。そしてトナカイの反対側には確かにグレーのパスでペケの形をかいていました。

4 歳児になると自分がかいた時の思いを言葉で伝えることができるようになって感心しました。そして単なるペケのようなものでなく、そこには“寝ていないとプレゼントを届けられないよ”というサンタクロースのメッセージもあったのです。いろいろなことを思いながらの表現だとわかりました。空間を埋めるためのペケだったのかな、集中力が続かなかったのかななど早合点をしてしまうことを反省した私でした。やはり作者の意図がそこにはあります。自分で考え、表現をする「探究」する姿です。

キッズギャラリーを機に、自分はこれでいいのだという「誇り」、こうしたいという「探究」や友達を認め合い、刺激を受ける「ふれあい」の姿が見られました。



アンケートもたくさん頂戴して、ありがとうございました。全ての方の思いに教職員一同、感動しながら読ませていただきました。一部ですが、ご紹介いたします。

<5 歳児のアンケートより>

- ・ 子供に作り方を教わり親子コミュニケーションにつながりました。
- ・ 友達と一緒に、または一人できちんと作り上げられたのは良い経験になったと思います。
- ・ 子供の絵や作品を見れてよかったです。
- ・ とても素敵でした。自分の子供以外の絵や工作もゆっくり見れてとても癒やされました。
- ・ 子供たちにはこんな風に見えるんだと感心しました。
- ・ 昨年より細かいところも見て書いているなぁと思いました。

<4 歳児のアンケートより>

- ・ 子供がどんな思いをもちながら描いたのか想像しながら楽しく見せていただきました。
- ・ 題名が子供の話し言葉のような感じでかわいかったです。
- ・ 制作風景や狙いなどの解説があって園生活を想像することができてよかったです。
- ・ 様々な道具を使用し、自由に思いのまま作品を作る姿が目に見えよかったです。
- ・ 自信をもって「できたー」と笑っている娘の顔が思い浮かびました。
- ・ 子どもたちの心をそのまま映したような素敵なものでした。
- ・ 感じたまま、心に残ったままそれぞれの色や形の表現に涙が出そうになりました。
- ・ 自由な発想に今しかできない考え、絵具や粘土での作品にホノボノしました。
- ・ 心で感じたままの表現にピュアな気持ちと思いがストレートに伝わりました。
- ・ こども展で説明してくれた作品が本当に本人の作品で、覚えていることが分かった。

<3 歳児のアンケートより>

- ・ 子供たちの真っ直ぐで力強いエネルギーをもらって、清々しい気持ちになりました。
- ・ 楽しくみんなと一緒にやっているのかなぁと安心しました。
- ・ ダイナミックに自由に表現ができているなと嬉しくなりました。
- ・ 娘と一緒に見ていた訳ではないのに物語のように会話を楽しむことができました。
- ・ 年齢によって表現やできることが違って成長の過程を感じました。
- ・ 一人一人の個性が出ていて見ていて飽きませんでした。写真がもっと見たかったです。
- ・ 灯ろうが少し見つけづらかったです。
- ・ わが子らしい作品に楽しそうに作っていただろうと嬉しく思いました。
- ・ 思いが伝わってくるような素敵な作品で心温まるひと時を過ごすことができました。
- ・ 学年ごとに成長してこんなことができるようになるのだなと成長を楽しみになった。
- ・ 子供が事前に説明してくれていたのでもっと楽しく見ることができた。
- ・ 息子の成長がわかる作品で驚きました。
- ・ とても素敵に飾られていてよかった。もっと置いてほしかったです。
- ・ 色遣いがとてもきれいで、すごくうれしく見せていただきました。
- ・ 自由な雰囲気が伝わりました。

様々に制限のある中の参観にご協力いただきありがとうございました。年度末に一年間の作品をすべて持ち帰ります。一枚一枚、お子さんと一緒にみていただき、感想を伝えてあげてください。ぜひ、飾っていただいて、お家ギャラリーしてくださいね。額に入れて飾っていただくものいいですね。お子さんの自信になります。